



2023年9月期第2四半期 決算補足説明資料

2023年5月30日



決算サマリ

スロースタート

1Q決算は前年比54%減収。前年は売上案件が集中した一方、今期は案件計上が2Q以降から本格化の見通し

従来想定据置

ただし、1Qの低調は従来想定通り。現時点で通期見通しに変更なし

IT展開

問診票管理システムを開発展開。DX化により、患者と病院双方のメリットを追求。データベース展開も産学連携

人的資本

人的資本の充実是最優先課題の一つ。従業員教育制度の充実や次世代経営幹部育成により、多様な価値観を創出



1

2023年9月期2Q決算実績



2023年9月期2Q経営成績①

- 対前年では38%減収、66%の営業減益。前下期から大規模案件は端境期入り。端境期前の前年同期との比較では、主力のメディカルトータルソリューション事業を中心に厳しい結果となった。ただし、これは期初より想定済。ほぼ目論見通りの展開
- 通期見通しに対しては、売上・利益ともおよそ50%弱の進捗率。端境期の終了を下期と想定すれば、通期見通し達成は十分視野に

経営成績の推移

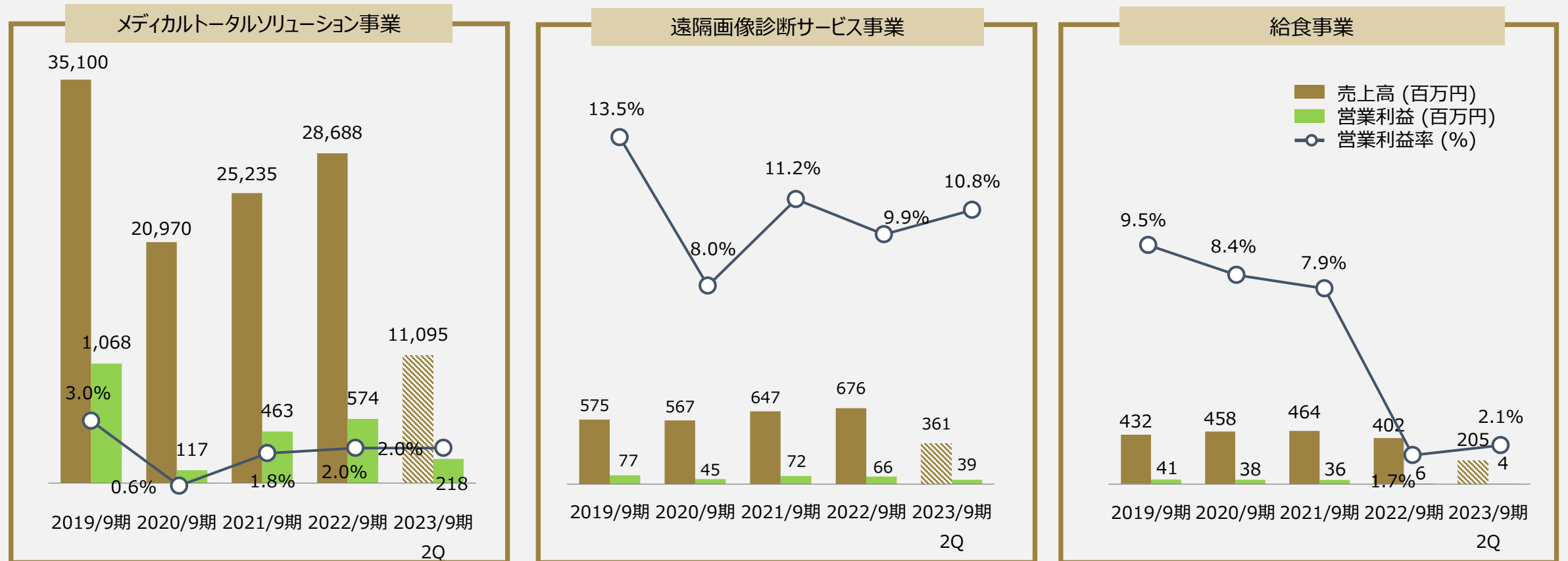
(百万円)	2021/9期 2Q実績	2022/9期 2Q実績	2023/9期2Q		2023/9期通期	
			実績	前年同期比 増減率	予想	進捗率
売上高	16,878	18,756	11,662	▲37.8%	25,000	46.6%
メディカルトータルソリューション	16,316	18,225	11,095	▲39.1%	24,000	46.2%
遠隔画像診断サービス	327	331	361	+9.1%	600	60.3%
給食	235	199	205	+3.0%	400	51.2%
営業利益	850	771	263	▲65.9%	550	47.8%
メディカルトータルソリューション	781	724	218	▲69.8%	480	45.5%
遠隔画像診断サービス	45	40	39	▲4.6%	60	65.1%
給食	22	4	4	+3.3%	10	43.2%
調整	1	1	1	▲24.7%	0	-
経常利益	862	824	249	▲69.8%	550	45.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	588	545	143	▲73.7%	360	39.9%



セグメント別業績推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業は売上端境期入りが鮮明。ただし、利益率低下を余儀なくされた前回の端境期(2020/9期)との比較では様相は一変。利益率は好調時と変わらない水準を維持し、厳しい中でも一定の収益力を維持
- 遠隔画像診断サービス事業は堅調。読影委託費上昇といったコスト増はあるも、人件費の圧縮などにより利益率はむしろ改善
- 給食事業は物流費・食材費値上げの影響が引続き重石。改善の糸口探る状況続く

セグメント別経営成績の推移





2023年9月期2Q経営成績②

- 四半期別の推移でも、2Q会計期間は前年比で減収に。ただし、受注端境期入りへの事前準備を進めた結果、利益率確保の営業徹底を断行。利益率は端境期入り前の水準に接近する4.1%に上昇し、減収ながら営業利益は増益を確保
- 対1Q比較では受注端境期ながらも回復基調で推移。主力のメディカルトータルソリューション事業では閑散期のボトムは過ぎたと認識
- 遠隔画像診断サービス事業、給食事業も徐々にボトムアウト

経営成績の推移

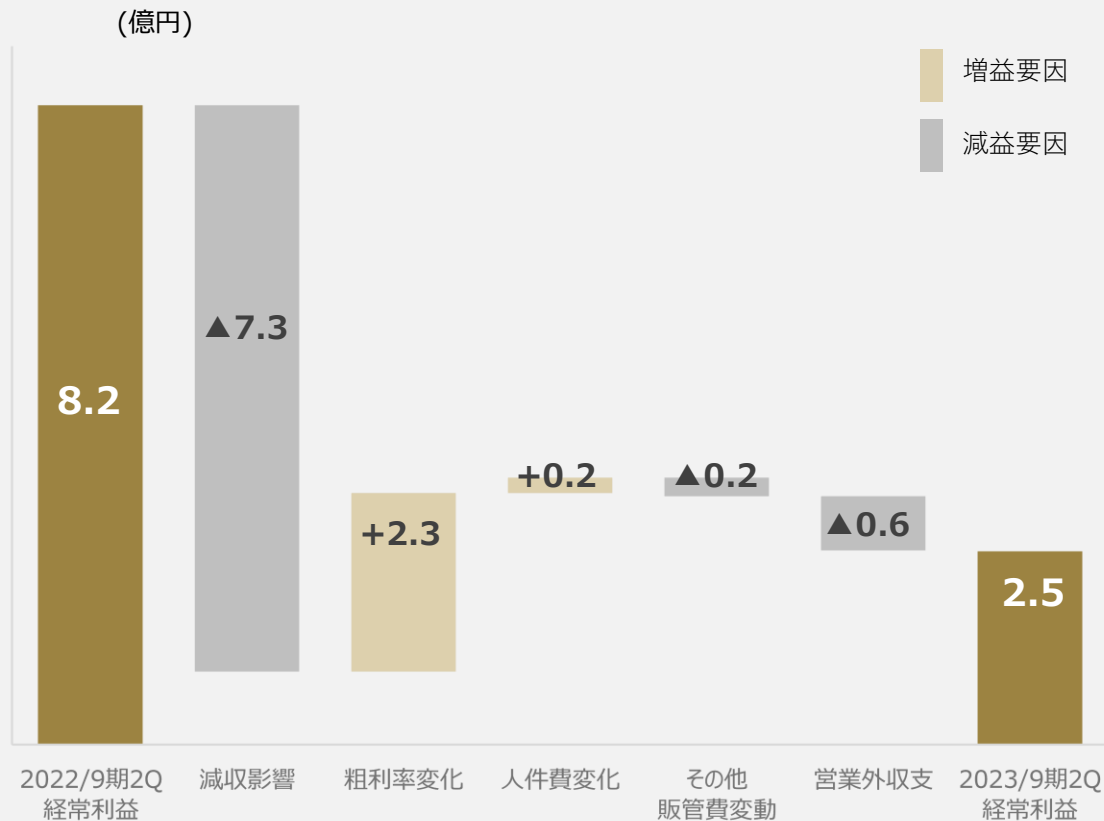
(百万円)	2021/9期				2022/9期				2023/9期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	7,971	8,907	4,593	4,875	10,678	8,078	6,438	4,571	4,936	6,725
メディカルトータルソリューション	7,691	8,624	4,321	4,598	10,404	7,821	6,169	4,293	4,650	6,444
遠隔画像診断サービス	162	164	155	164	172	159	171	173	180	181
給食	117	118	116	112	100	98	98	105	105	99
営業利益	405	445	▲64	▲209	529	241	114	▲235	▲11	274
メディカルトータルソリューション	370	410	▲89	▲228	499	226	97	▲247	▲34	253
遠隔画像診断サービス	23	21	16	10	26	14	15	10	20	18
給食	9	12	7	6	2	1	1	1	1	2
調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業利益率	5.1%	5.0%	▲1.4%	▲4.3%	5.0%	3.0%	1.8%	▲5.3%	▲0.2%	4.1%



2023年9月期2Q 経常利益増減益要因分析

- 2Q累計経常利益を前年と比較すると、案件端境期に伴う減収影響が大きく収益を圧迫。前期に戦略的意図から取得した一部低採算案件の影響消失や営業強化に拠る利益率引上げ効果はあったものの、減収影響は吸収できず
- 営業外収支では、前期計上した保険解約返戻金の消失に加え、シンジケートローン手数料を計上。前年比減益要因として影響

経常利益増減益分析



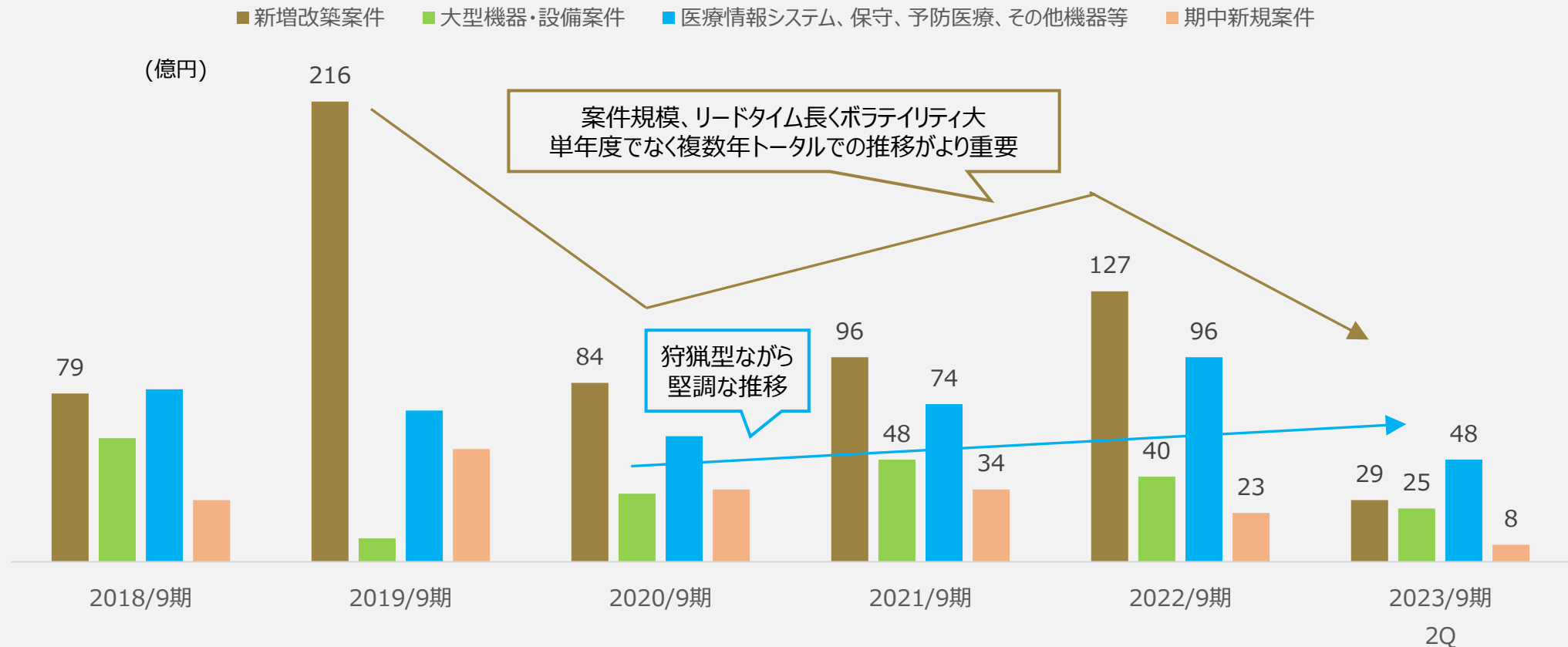
- 減収影響 ▲7.3億円
 - ・メディカルトータルソリューション事業で案件減少
 - ・10億円以上の大型案件は2Q累計期間中に計上なく、実績は小型案件が主体に
- 粗利率変化 +2.3億円
 - ・前年計上した一部低採算案件の影響が消失
 - ・その他の案件においても粗利率は改善基調で推移
- 人件費 +0.2億円
 - ・役員関連人件費減少 +0.2億円
- その他販管費変動 ▲0.2億円
 - ・業務委託/支払手数料 ▲0.2億円
- 営業外収支 ▲0.6億円
 - ・保険解約返戻金収入消失 ▲0.5億円
 - ・シンジケートローン手数料 ▲0.2億円



メディカルトータルソリューション事業売上内訳推移

- メディカルトータルソリューション事業では、2Q累計時点でもシステム・保守・予防医療などの注力領域が事業売上のほぼ5割を稼ぎ出す展開。狩猟型ながら売上は安定的といったこの領域は、年率で100億円程度の売上ペースで推移
- 対照的に、狩猟型ビジネスの中心を成す新增改築案件の売上は、端境期入りにより2Q累計でもまだ低水準が継続。新增改築案件に準じる大型機器・設備案件は比較的健闘するも、全体水準を上げるには至らず

メディカルトータルソリューション事業売上内訳





2023年9月期2Q 貸借対照表

- 前期末比較では総資産で19億円（14%）の急拡大。ただし、これは債権/債務が両建てで膨らんだことがその主因であり、特に大きな内容面での変化はないとの認識
- 2Q末の自己資本比率は35.4%。実質無借金経営も継続しており、2Q末時点のネットキャッシュは50億円

財政状態の推移

(百万円)	2020/9期	2021/9期	2022/9期	2023/9期2Q	前期末比差異
流動資産	12,198	11,755	12,232	14,143	+1,911
現預金	4,450	5,408	5,480	5,088	▲391
受取手形・売掛金/契約資産	6,652	4,820	4,360	6,599	+2,239
棚卸資産	60	188	24	51	+27
その他	1,034	1,337	2,368	2,403	+35
貸倒引当金	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0
固定資産	1,215	1,209	1,235	1,190	▲45
総資産	13,414	12,964	13,468	15,334	+1,866
負債	8,596	7,805	7,930	9,752	+1,822
買掛金	6,282	4,890	3,960	6,097	+2,136
有利子負債	338	127	92	83	▲8
その他	1,975	2,788	3,876	3,571	▲305
純資産	4,817	5,159	5,537	5,581	+43
負債純資産合計	13,414	12,964	13,468	15,334	+1,866



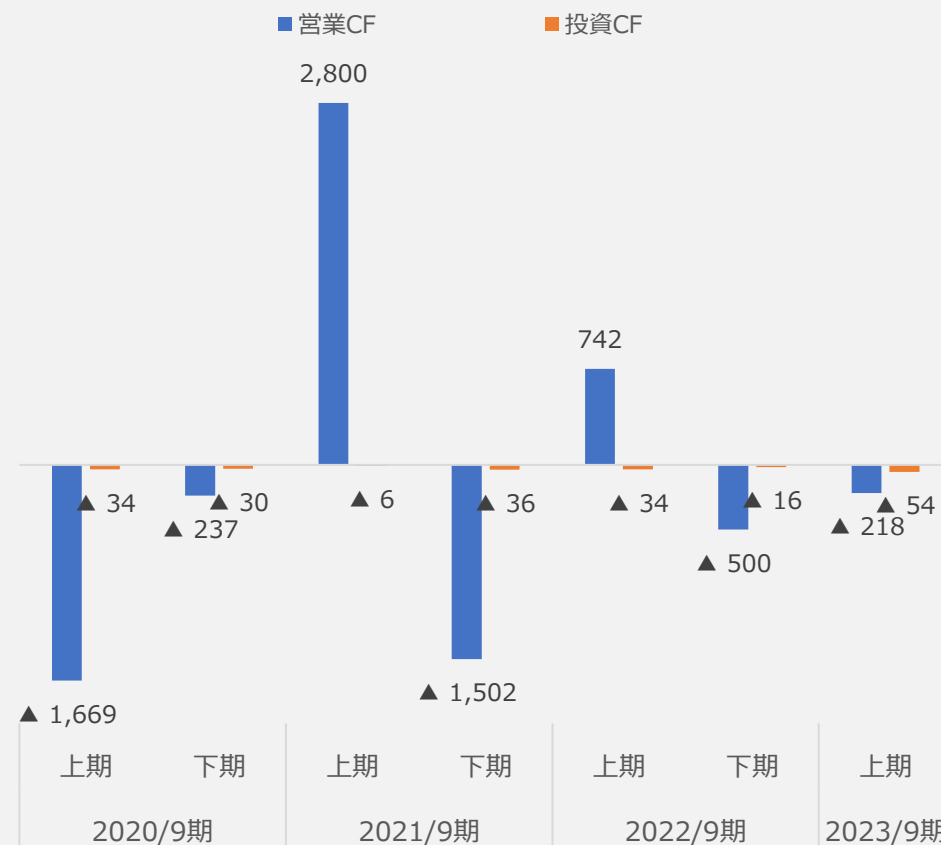
2023年9月期2Q キャッシュフローの状況

- 2023/9期2Q累計のFCFは2.7億円の支払超過。投資CFの支払超は限定的な規模に留まったものの、営業CFが利益水準の低下から支払超となったことが影響した。営業CFの支払超過は前下期より2半期連続
- 2Q累計ではおよそ3億円のキャッシュポジション減少となるが、ネットキャッシュが潤沢な状況に変更はなし

キャッシュフローの推移

(百万円)	2021/9期	2022/9期	2023/9期 2Q
営業CF	1,298	242	▲218
税前当期純利益	594	689	249
売上債権/仕入債務増減	439	▲469	▲103
その他	263	21	▲365
投資CF	▲42	▲50	▲54
FCF	1,255	192	▲273
財務CF	▲298	▲120	▲117
有利子負債の純増減	▲210	▲36	▲9
株式の発行による収入	—	—	—
その他	▲87	▲84	▲108

* FCF=営業CF+投資CF で算出





2

2023年9月期通期決算見通し

2023年9月期業績見通し

- 2023/9期通期では従来想定を据置き。2Q時点の通期進捗率はおよそ5割であり、ほぼ想定通りの展開
- 前期比では3期ぶりの減収減益の想定。受注端境期を迎え、メディカルトータルソリューション事業が調整局面となる見通し

経営成績の推移

(百万円)	2020/9期 実績	2021/9期 実績	2022/9期 実績	2023/9期 見通し	比較	
					前年比 増減率	前年比 差異
売上高	21,996	26,347	29,767	25,000	▲16.0%	▲4,767
メディカルトータルソリューション	20,970	25,235	28,688	24,000	▲16.3%	▲4,688
遠隔画像診断サービス	567	647	676	600	▲11.2%	▲76
給食	458	464	402	400	▲0.5%	▲2
営業利益	204	576	650	550	▲15.5%	▲100
メディカルトータルソリューション	117	463	574	480	▲16.3%	▲94
遠隔画像診断サービス	45	72	66	60	▲9.0%	▲6
給食	38	36	6	10	+66.6%	+4
調整	3	3	2	0	-	+8
経常利益	207	595	709	550	▲22.5%	▲159
親会社株主に帰属する当期純利益	120	390	437	360	▲17.6%	▲77

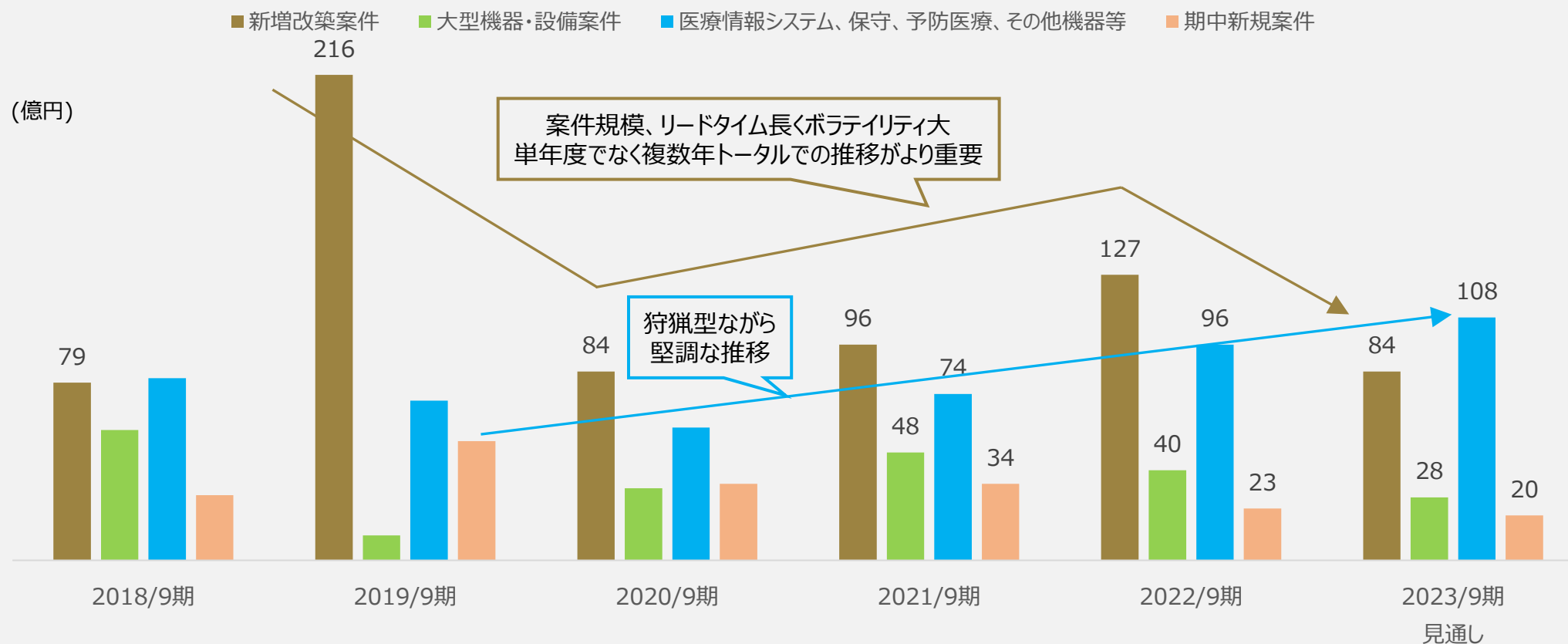
前回調整
局面



メディカルトータルソリューション事業売上内訳推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業に関しても、従来見通しを据置き。注力する医療情報システム/保守/予防医療などIT展開イニシアティブを担う領域の売上は過去最高の100億円超を計画
- 一方、3年周期にある新增改築案件の売上は端境期から100億円未満と調整する見通し

メディカルトータルソリューション事業売上内訳





2023年9月期通期業績予想前提

- 2023/9期の新增改築案件数は17件を想定。前期比5件の増加を見込む
- ただし、その内訳は10億円未満の中小規模案件がその主体となる見通し。20億円以上の大型案件は1件にとどまり、案件当たり単価は63%の下落を想定。前4Qから始まった案件端境期は、当期いっぱい継続するとの保守的な前提を置く

メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

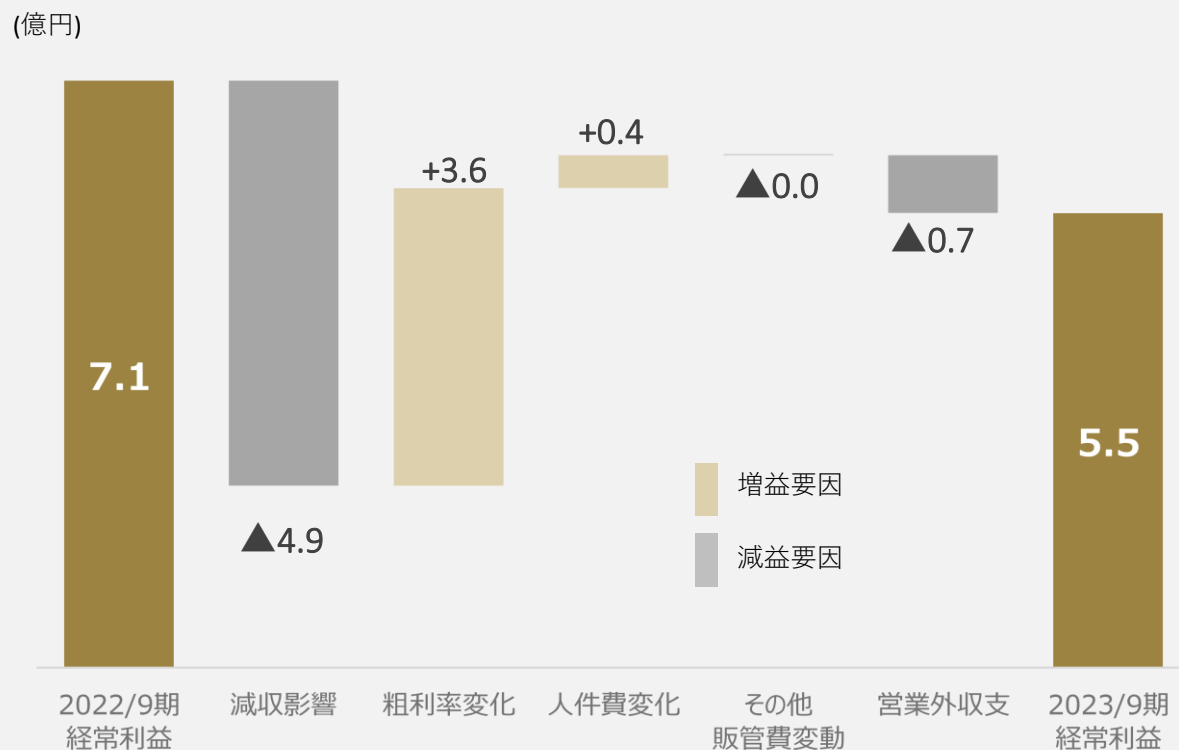
(百万円)		2020/9期	2021/9期	2022/9期	2023/9期 見通し	前期対比
20億円以上	売上高	2,562	4,739	9,877	2,271	▲7,606
	件数	1	2	3	1	▲2
	平均単価	2,562	2,369	3,292	2,272	▲1,021
10億円以上	売上高	2,954	1,476	3,995	2,080	▲1,916
	件数	2	1	3	2	▲1
	平均単価	1,477	1,476	1,332	1,040	▲292
10億円未満	売上高	2,928	3,395	2,180	4,007	+1,827
	件数	10	11	6	14	+8
	平均単価	292	308	363	286	▲77
合計	売上高	8,445	9,611	16,054	8,359	▲7,694
	件数	13	14	12	17	+5
	平均単価	650	686	1,338	492	▲846
事業売上に占める一括販売比率		40.3%	38.1%	56.0%	34.9%	▲21.9pt



2023年9月期想定増減益分析

- 減益となる主たる要因は、受注端境期による売上の減少。深掘営業の追求によって粗利率の改善などはプラス要因として寄与するものの、マイナス要因の吸収には至らない見通し
- コスト面では従業員数の増加はあるものの、業績連動賞与は保守的に織り込み、人件費トータルでは若干の減少を想定。一方、営業外収支では前期に雑収入に計上した保険解約返戻金は発生しない見通し

経常利益増減益分析



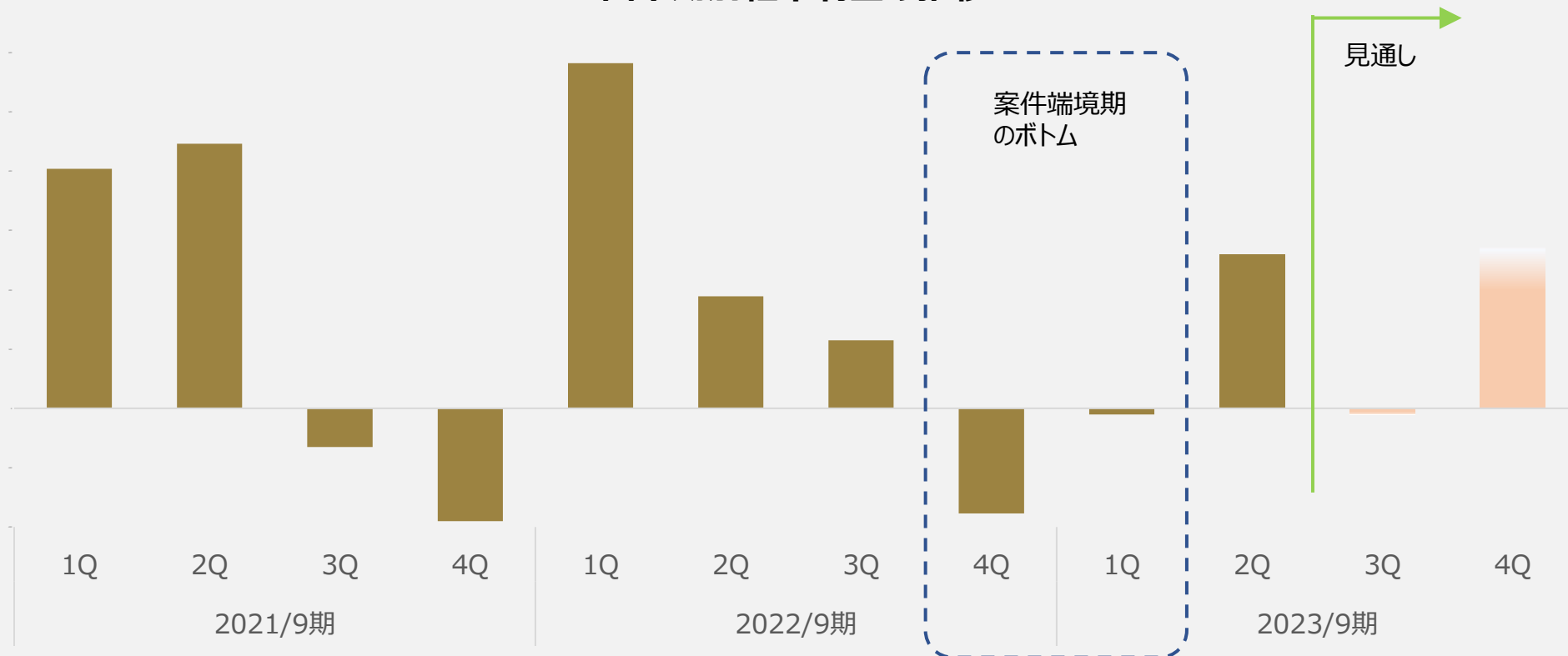
- 減収影響 ▲4.9億円
 - ・メディカルトータルソリューション事業の減収が影響
 - ・ただし、ストック的ビジネスの積上げは着実に伸長
- 粗利率変化 +3.6億円
 - ・前期にあった戦略的意図による一部低採算案件の影響が消失
 - ・深掘営業追求に伴う付加価値増を想定
 - ・ストック的ビジネス増による構成変化
- 営業外収支変動 ▲0.7億円
 - ・保険料収入 ▲0.5億円



2023年9月期四半期別経常利益想定

- 案件計上端境期のボトムは前4Qから1Qにかけて。2Qは今期の案件計上が集中するため、業績面では一服
- ただし、需要拡大ピッチの加速にはまだ至らず。3Qには反動減も否めないなど、2023/9期は総じて調整局面との見方に変更なし

四半期別経常利益の推移





3

トピックス

1 IT関連事業紹介

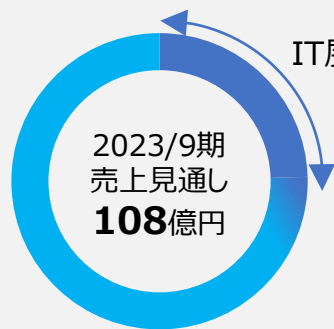
2 人的資本への対応



トピックス1：IT関連事業紹介

医療情報システム/保守/
予防医療/その他機器など

IT展開イニシアティブ
関連売上



- ✓ 電子カルテシステム
- ✓ 医療情報支援システム
- ✓ 健診システム
- ✓ その他

医療情報支援システム

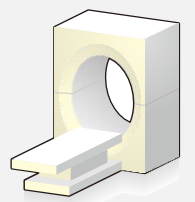
BEAR-D2

診療情報入力支援アプリ

- ✓ スマートデバイスを使用
- ✓ 患者と病院職員の双方にメリット
- ✓ 問診票活用医療情報に関する調査研究で
東京医科歯科大学と連携



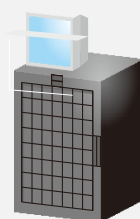
MIND PACS



MRI/CT/CR

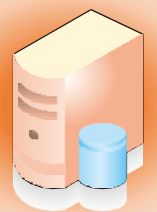
撮影画像

患者情報



システム
接続

電子カルテ

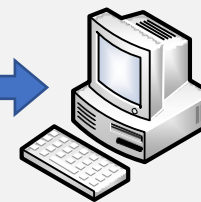


システム
接続

MPVS



サーバ



Viewer

画像情報



MIND PACS

放射線画像の管理・運営システム

- ✓ データの一括管理により、病院のフィルムレスを実現
- ✓ シンプルで高い操作性
- ✓ 画像に連動した所見作成機能

MIND Portal View System(MPVS)

電子カルテに付加価値を加えた関連システム

- ✓ 多種多様な形式のデータ保管が可能
- ✓ 電子カルテ端末との連携で患者情報を一括取得
- ✓ 他社システムとの連携対応も可能
- ✓ 次世代のデータアーカイバーとして活用



トピックス2：人的資本に関する取組み

“人的資本の充実”は当社最優先課題の一つとの位置づけ



狩猟型商社において、社員個々のスキル向上、より柔軟で多面的な価値観の創出は生き残りに不可欠

人的資本の充実施策

- ① 従業員教育制度の充実
OJT教育の体系化
リスキリング・システムの構築

- ② 次世代経営幹部の育成





業績・財務ハイライト

決算年月		2018年9月	2019年9月	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期 2Q
売上高	(千円)	25,715,941	36,109,029	21,996,890	26,347,156	29,767,431	11,662,168
経常利益	(千円)	652,381	1,184,035	207,244	595,939	709,660	249,320
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	357,645	732,959	120,839	390,983	437,051	143,738
包括利益	(千円)	396,399	735,628	141,111	427,266	467,209	152,076
資本金	(千円)	331,507	331,507	536,169	539,369	539,369	539,369
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	1,784,000	1,784,000	1,954,400	1,960,800	1,960,800	1,960,800
純資産額	(千円)	3,682,163	4,340,511	4,817,569	5,159,691	5,537,971	5,581,812
総資産額	(千円)	12,875,910	12,814,634	13,414,303	12,964,840	13,468,183	15,334,184
1株当たり純資産額**	(円)	2,016.04	2,376.58	2,408.78	2,567.33	2,746.25	2,768.41
1株当たり配当額	(円)	40.0	40.0	45.0	40.0	50.0	-
1株当たり当期純利益**	(円)	323.64	411.31	62.51	199.92	222.90	73.31
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	-	-	61.85	198.33	221.52	73.09
自己資本比率	(%)	27.9	33.0	35.1	38.8	40.0	35.4
自己資本利益率	(%)	11.2	18.7	2.7	8.0	8.4	2.7
配当性向**	(%)	12.4	9.7	72.0	20.0	22.4	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	962,625	2,764,536	▲1,906,273	1,298,076	242,357	▲218,941
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲52,847	▲91,784	▲63,598	▲42,129	▲49,958	▲54,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	203,275	▲213,022	238,372	▲298,007	▲120,931	▲117,851
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	3,702,552	6,162,281	4,430,782	5,388,721	5,460,189	5,068,876
従業員数	(人)	153	155	157	162	175	167
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(38)	(39)	(54)	(58)	(62)	(59)

*通期換算ベース **2018年9月13日付株式分割(1:200)後の発行済み株式数基準



ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン
経営企画室 IR担当
TEL : 06-6387-1554
Email : ir-support@leoclan.co.jp